

NEWS RELEASE

宇宙システム事業の規模拡大に向けて生産能力を増強
三菱電機 鎌倉製作所「新衛星生産棟」竣工のお知らせ

三菱電機株式会社は、鎌倉製作所（神奈川県鎌倉市）内に建設していた、人工衛星の組み立てから試験までを行う「新衛星生産棟」が、2月19日に竣工しますのでお知らせします。人工衛星の並行生産能力を10機から18機に増強することで、今後伸びが見込まれる国内の官需衛星と国内外の商用通信衛星の需要に対応し、宇宙システム事業の規模拡大を目指します。



鎌倉製作所新衛星生産棟

新工場の特長

- ・大型スペースチェンバーや大型振動試験機などを設置し、人工衛星の組立から試験まで一貫生産可能な工場を新設することで並行生産能力を10機から18機に向上
 - ・「e-F@ctory コンセプト*」の導入により受注から組立・出荷までの生産情報を一元化し、生産性・品質の改善サイクルを高速化することで、納期の短縮と高品質・高効率な生産を実現
 - ・ヒートポンプ式空調システム、LED照明、スーパー高効率変圧器など最新の当社製省エネ機器を導入して消費エネルギーを削減することで、地球環境に配慮
- * サプライチェーン・マネジメントや開発設計の全業務プロセスを改善し、トータルコストを削減する考え方

新衛星生産棟の概要

所在地	神奈川県鎌倉市上町屋325番地
建築面積・構造	建築面積 約6,700m ² 、延べ床面積 約13,300m ² 、鉄骨造 4階建
主な生産品目	・人工衛星システム:観測衛星、通信衛星、測位衛星 他 ・人工衛星搭載機器
並行生産能力	人工衛星 18機(既存設備との合計)
主な導入設備	大型スペースチェンバー、大型振動試験機、電波試験設備 他
投資額	約110億円
環境・省エネ対策	ヒートポンプ式空調システム、LED照明(約1,300台)、 スーパー高効率変圧器(3.3kV/420V/200V/100V)

新工場建設の背景と狙い

日本政府は宇宙基本計画において、民生分野での宇宙利用の推進、産業・科学技術基盤の維持・強化に向けた観測衛星・通信衛星・測位衛星などの実利用衛星の中長期的な開発計画を明確にしており、昨年には、米国が構想する月近傍有人拠点「Gateway」への参画を決定したことから、今後の官需衛星需要の拡大が期待されます。また、グローバルでの小型通信・観測衛星市場も拡大傾向にあります。

このような中、当社はこれまでに、静止気象衛星「ひまわり 7・8・9 号」、日本初の国産商用通信衛星である「スーパーバード C2」、高精度の位置情報提供サービスを目指す準天頂衛星システム「みちびき」、カタールの国営衛星通信事業者から受注した通信衛星「Es'hail-2（エスヘイル2）」など、実利用衛星の開発・製造を担ってきました。また、国内外の商用通信衛星需要を見据え、技術試験衛星 9 号機をはじめとする官需衛星の開発などから得た技術を基盤に商用通信衛星の国際競争力強化に取り組んでいます。

今回、鎌倉製作所に「新衛星生産棟」を建設して人工衛星の並行生産能力を 10 機から 18 機に増強するとともに、「e-F@ctory コンセプト」を導入して生産効率を向上させ、品質・コスト・工期の競争力を強化することで、宇宙システム事業の規模拡大を目指します。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 鎌倉製作所
〒247-8520 神奈川県鎌倉市上町屋 325 番地
TEL 0467-44-1111